

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R2. 5. 29	資料4-2

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去から の継続
あて名本人への設問					
1	このアンケートを記入される人はどなたですか。	基本項目	◎		○
2	あなたの性別を教えてください。			○	○
3	令和2年1月1日現在の、あなたの年齢を教えてください。			○	○
4	あなたのお住まいの地域を教えてください。			○	○
5	あなたの現在の介護度を教えてください。現在、更新申請または変更申請中の人は、前の介護度を教えてください。				○
6	あなたが、現在抱えている傷病について教えてください。	医療、介護の両方のニーズを持つ、在宅療養者を把握する。	○		△
7	あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。		○		—
8	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	経済状態と関連する経済的な生活観を把握する。		○	○
9	世帯類型について教えてください。	世帯類型ごとに、サービスの利用や抱えている課題などが異なるため、世帯類型を把握する。	◎		△
10	家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。※同居していない子どもや親族等からの介護を含む。	家族等による介護がどの程度行われているかを把握する。	◎		—
11	主な介護者は、どなたですか。	主な介護者の方と要介護者の関係によって、抱えている問題が異なるため、要介護者と主な介護者の方との関係を把握する。	○		△
12	主な介護者の性別について教えてください。		○		—
13	主な介護者の年齢について教えてください。		◎		△
14	主な介護者が行っている介護等について教えてください。	主な介護者の方が、行っている介護を把握し、就労継続の可否に係る意識等と合わせた分析を行う。	○		—
15	現在、介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）を利用していますか。	要支援・要介護認定を受けている方について、介護保険サービスを利用していない理由を把握する。	○		△

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
16	以下の在宅サービスを利用していますか。 ①訪問診療（医師の訪問） ②訪問介護 ③夜間対応型訪問介護 ④訪問入浴介護 ⑤訪問看護 ⑥訪問リハビリテーション ⑦通所介護（デイサービス） ⑧認知症対応型通所介護 ⑨通所リハビリテーション（デイケア） ⑩小規模多機能型居宅介護 ⑪看護小規模多機能型居宅介護 ⑫短期入所（ショートステイ） ⑬医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導） ⑭定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ⑮その他（ ）	現在利用している在宅サービスを把握する。		○	○
17	訪問介護で援助を受けている内容は何かですか。	要支援・要介護認定別の訪問介護の利用内容を把握する。		○	—
18	現在受けている介護サービスについて、どの程度満足されていますか。	介護サービスについての満足度を把握する。		○	—
19	介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。	要支援・要介護認定を受けている方について、介護保険サービスを利用していない理由を把握する。	○		—
20	介護保険や健康、福祉などに関することで、知りたいことがあったり、困ったことがあったりしたときに、どなたに相談しますか。	地域包括支援センターや社会福祉協議会など福祉にかかわる職員への信頼度などを把握する。		○	○
21	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて教えてください。	地域の中で介護保険サービス以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握する。	◎		—
22	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について教えてください。※介護保険サービス、介護保険以外の支援サービスともに含みます。	支援・サービスのニーズを把握する。介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスの両方を対象としている。	◎		—
23	在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護を必要としている人が、どのようなサービスを求めているのかを把握する。		○	○
24	今後も自分の希望する場所で暮らしていくためには何が必要だと感じていますか。	希望する場所で暮らしていくために何が必要と考えているのかを把握する。		○	—

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
25	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、教えてください。	今後も在宅生活を継続していくことができると感じているか否かを把握し、在宅生活の継続に資するサービス利用の分析等を行う。	○		—
26	市内に地域包括支援センターがあることを知っていますか。	介護保険の第1の相談窓口としての地域包括支援センターの認知度を把握する。		○	○
27	どのような業務内容を知っていますか。	地域包括支援センターの認知度だけでなく、業務内容の認知度も把握する。		○	○
28	日常生活自立支援事業について知っていますか。	事業の認知度を把握する。		○	—
29	成年後見制度について知っていますか。	成年後見制度の認知度を把握する。		○	○
30	将来の自分について不安なことはどんなことですか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
31	成年後見制度を利用した場合、以下のようなことを支援することができますが、どのような内容を知っていますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
32	問31の選択肢のような支援をしてくれる成年後見制度の利用についてどのように考えますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
33	治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいですか。	人生の最終段階に対する考え方を把握する。		○	○
34	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。	人生の最終段階に対する考え方を把握する。		○	—
35	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	—
36	このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。	ACPについての賛否を把握する。		○	—

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
37	あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか(受たくないか)などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。	意思表示の書面作成についての賛否を把握する。		○	—
38	もし、家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合う(人生会議を実践する)時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか(話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。)	ACPを実践するのに適切と考える時期を把握する。		○	—
39	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。)	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	—
40	あなたは、「かこリンク」を知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	—
41	今後、高齢者の増加に伴い、介護サービスを利用する人の増加が見込まれています。その結果、保険料が高くなる可能性があります。保険料と介護サービスの関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。	介護保険サービスと保険料の考え方を把握する。		○	○

主な介護者への設問					
1	あなたの性別を教えてください。	基本項目		○	○
2	あなたの年齢を教えてください。			○	○
3	あなたの現在の勤務形態について、ご回答ください。	勤務形態によって、介護者の方の負担も異なることから、主な介護者の方の勤務形態を把握する。	◎		△
4	あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。	仕事と介護の両立の視点から、柔軟な働き方について、どの程度活用しているかを把握する。	◎		—
5	あなたは、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。	勤め先からの支援のニーズを把握する。	○		—
6	あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	介護者が、今後も仕事を継続していくことができるか否かを把握し、就労継続に資するサービス利用等の分析等を行う。	◎		—

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
7	家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた人はいますか。※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業の仕事を辞めた人を含みます。	要支援・要介護認定者の介護に関連する、離職者の有無を把握する。	◎		—
8	あなたの健康状態はいかがですか。	基本項目		○	○
9	あなたが介護をしている人は何人ですか。	健康状態と関連づけることで介護づかれの参考とする。		○	○
10	あなたが介護(行為)にかけている1日あたりの平均時間はどのくらいですか。※複数の人を介護されている場合は、1日あたりの合計の平均時間をご記入ください。	健康状態と関連づけることで介護疲れの参考とする。		○	○
11	あなたが介護をしている人は、あなたからみてどのような続柄ですか。	基本項目		○	○
12	あなたが介護をするようになって何年になりますか。	介護者の健康状態と関連づけることで介護疲れの参考とする。		○	○
13	同居している家族の中で、介護に協力してくれる人はあなたからみてどなたですか。	家族の協力者の有無を把握する。		○	○
14	別居している家族の中で、介護に協力してくれる人はあなたからみてどなたですか。	介護者自身を支援してくれる人の有無を把握する。		○	○
15	介護について、情報交換の場はありますか。	行政や地域とのつながりを把握する。		○	○
16	介護保険や健康、福祉などに関する事で、知りたいことがあったり、困ったことがあったりしたときにどなたに相談しますか。	行政や地域とのつながりを把握する。		○	○
17	介護保険制度の内容や仕組みを知っていますか。	介護保険制度が正しく利用者に認識されているかを把握する。		○	○
18	介護保険制度に関する内容や仕組みについて知りたいことがありますか。	介護サービスの情報提供で不足しているものが何かを把握する。		○	○
19	あなたが介護をしている人は、現在介護保険サービスを利用していますか。	介護度と関連させることで、どのような介護保険サービスが多く必要とされているかを把握する。		○	○
20	介護保険サービスを利用してよかったことはありますか。	介護保険サービスを利用した影響について把握する。		○	○
21	現在受けている介護サービスについて、どの程度満足されていますか。	介護保険サービスの満足度を把握する。		○	△

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
22	今後、高齢者の増加に伴い、介護サービスを利用する人の増加が見込まれています。その結果、保険料が高くなる可能性があります。保険料と介護サービスの関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。	介護保険サービスと保険料との考え方を把握する。		○	○
23	現在、介護をしていて困ること、負担に感じることは何ですか。	介護期間と関連づけることで、どのくらいの時期にどのようなことで困ったり負担に感じたりするのかを把握することで、今後の支援の参考とする。		○	○
24	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。※現状で行っているか否かは問いません。	介護を必要としている人が、どのようなサービスを求めているのかを把握する。	◎		—
25	介護を受けている人に対して、以下のようなことをした、またはしそうな経験がありますか。 ①話しかけられているのに、わざと無視する ②イライラして、たたいたり、つねる ③徘徊しないように家に閉じ込めたり、ベッドから落ちないように縛る ④わざと薬を飲ませない ⑤汚れていても、オムツなどを替えない ⑥食事の回数を減らしたり、与えない ⑦現金や資産を本人に無断で使う ⑧特にない	高齢者虐待の傾向を把握する。		○	○
26	介護を必要とする人が在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護を必要としている人が、どのようなサービスを求めているのかを把握する。		○	○
27	市内に地域包括支援センターがあることを知っていますか。	介護保険の第1の相談窓口としての地域包括支援センターの認知度を把握する。		○	○
28	どのような業務内容を知っていますか。	地域包括支援センターの認知度だけでなく、業務内容の認知度も把握する。		○	○
29	加古川市では、介護をしているご家族を支援するために、各地域包括支援センターで「介護者のつどい」を開催していますが、知っていますか。	介護者のつどいの認知度を把握する。		○	○

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
30	参加したことがない理由は何ですか。	参加しやすい場づくりの参考とする。		○	○
31	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
32	身近な人に成年後見制度の利用をしたほうが良いと思われる人はいますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
33	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	—
34	このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。	ACPについての賛否を把握する。		○	—
35	あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか（受けたくないか）などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。	意思表示の書面作成についての賛否を把握する。		○	—
36	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う（人生会議を実践する）時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか。（話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。）	ACPを実践するのに適切と考える時期を把握する。		○	—
37	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。）	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	—
38	あなたは、「かこリンク」を知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	—
39	あなたが介護をしている人に認知症と思われる傾向がありますか。	今後増加することが予想される認知症について、どのくらいの人かどの地域にいるのかを把握する参考とする。		○	○
40	気になる認知症の症状が出てから、医療・介護の相談機関に相談されるまでの期間はどのくらいかかりましたか。	早期発見、早期治療につなげる支援の在り方の参考とする。		○	—
41	認知症の診断や治療をはじめるまでにどのようなことに困りましたか。	早期発見、早期治療につなげる支援の在り方の参考とする。		○	○

高齢者・介護者アンケート(緑色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
42	認知症の人の介護をしていて、必要だと感じるものは何ですか。	認知症の人を介護している人への必要な支援を把握する。		○	○
43	今後、市が認知症対策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	介護者が必要と感じている支援を把握する。		○	○
44	加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	—
45	加古川市では、地域で認知症の方を見守り、早期発見・早期保護するための「見守り・SOSネットワーク」を実施していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	—
46	認知症の人とその家族、地域の方など誰もが気軽に集える場としての認知症カフェを知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	—